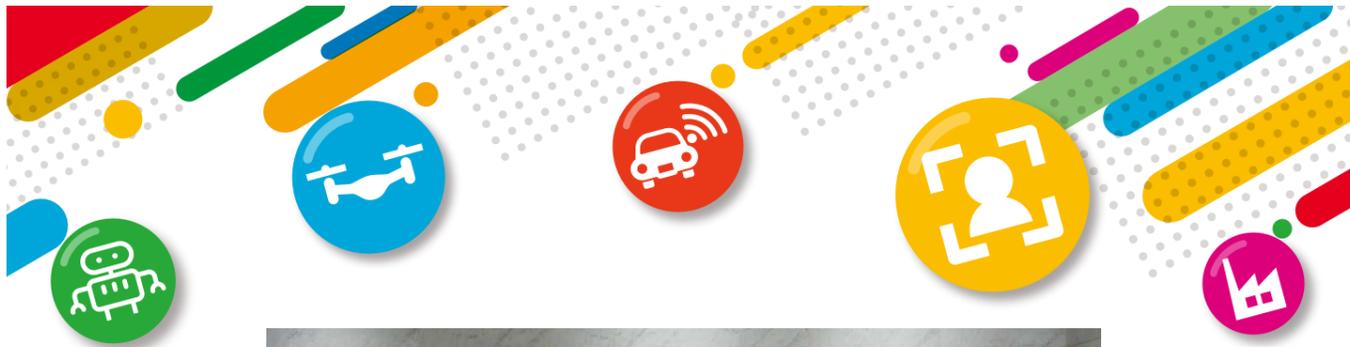


会報 JAISA

ジャイサ

2023
春号
第74号



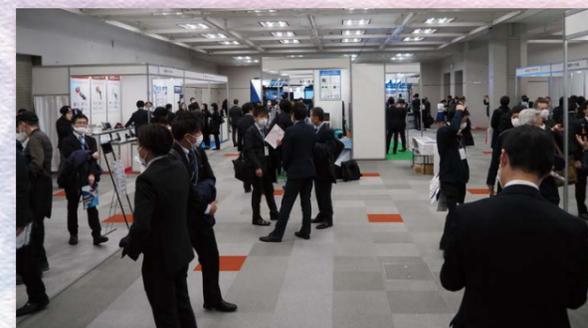
第20回 自動認識総合展 大阪を開催

2023年2月21日・22日の両日、第20回自動認識総合展大阪がマイドームおおさかで開催されました。本展示会は、最新の自動認識技術と現場の課題解決に向けたソリューションが展示される関西で唯一の専門展で、会期中は活発な商談が展開され、併設セミナーでも多くの方々に聴講いただきました。



会報JAISA春号 CONTENTS

第20回 自動認識総合展 大阪 展示会概要	P1
第20回 自動認識総合展 大阪 おもな出展社と展示製品	P2
自動認識総セミナー 大阪 基調講演	P3~5
自動認識総セミナー 大阪 特別講演 1	P6~7
自動認識総セミナー 大阪 特別講演 2	P8
自動認識セミナー 一覧	P9
第20回 自動認識総合展 大阪 来場者分析・アンケート	P10
第25回 自動認識システム大賞 ご案内	P11~12
2023年度 自動認識技術者資格認定講習・試験 ご案内	P13~14
2023年度 自動認識の基礎知識セミナー ご案内	P15
第25回 自動認識総合展 ご案内	P16



AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO 第20回 自動認識総合展 大阪

自動認識システムが需要を拡大

2023年2月21日から22日まで、大阪市にあるマイドームおおさかで「第20回 自動認識総合展 大阪」が開催されました。

会期初日の2月21日(火)、展示会に先立ち開会式が行われ、当協会小瀧会長は「自動認識技術はこれまで、産業界の情報インフラとして社会課題の解決に貢献してきた。コロナ禍においては、非接触・自動化の製品やサービスの需要が高まり、社会生活の利便性向上につながっている。本展示会が来場者と出展者のコミュニケーションを深め、新たなイノベーションを創出するきっかけとなり、関西圏における経済発展に役立つ展示会であることを願う」と挨拶しました。

続いてご来賓の祝辞をいただき、テープカットの後、本展示会が幕を明けました。

来賓の皆様はその後展示会場を視察し、AIや画像認識、RFIDなど出展各社のソリューションに触れ、DXの推進を支援する最新の自動認識技術に感心されました。



開会式で祝辞を述べる
経済産業省 近畿経済局
辻 敦士 様



開会の挨拶を行う
JAISA代表理事会長
小瀧 龍太郎



開会式テープカット 写真右から

大阪商工会議所経営情報センター 所長 湯谷 康文 様
大阪府商工労働部ものづくり支援課 課長補佐 岡 正人 様
経済産業省近畿経済産業局産業部 製造産業課長 辻 敦士 様
大阪市経済戦略局産業振興部 産業振興課長 松本 孝史 様
日本自動認識システム協会 代表理事会長 小瀧 龍太郎



来賓の展示会場視察

昨年を上回る来場者

「第20回 自動認識総合展 大阪」の出展社は28社・団体(44小間)、2日間で1,749名の方々に来場いただきました。(昨年来場者は1,132名)

近年、コロナ感染症や様々な要因で経済の先行き不透明な状況が続く中、自動認識業界では製品やサービスの需要が拡大したこともあり、本展示会には出展社・来場者ともに昨年を上回ることとなりました。

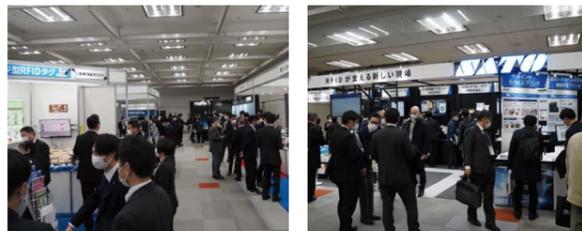
また、同時開催のセミナーでは、近畿経済産業局様による基調講演をはじめ、製造、物流、ヘルスケアなど、さまざまな分野の導入事例紹介や、自動認識システム大賞受賞企業の講演、さらに自動認識市場調査報告や技術動向など、8セッション15講演で279名の方々に聴講いただきました。



活発な情報交換と商談

本展示会は初日の午前から多くの来場者があり、出展者は「目的を持った来場者が多く感じる」ことや、「初日だけで目標の(来場者)名刺数をクリアした」などといった意見がありました。

一方、来場者からは、「仕掛りの商談を実機デモで確認できた」「去年は少し寂しかったが、今年は盛況に見える。AIの活用は面白い」などの感想を聞くことができました。



(株) RFIDアライアンス /エイリアンテクノロジー /データマース/RFcamp	『RFIDラベル、下げ札、金属タグ、カード専門商社』 創立15周年 コニークな商品、豊富な品揃え、印字エンコードのサービスでRFIDの導入を応援します。プラスワンタグ、ランドリータグの実演。 https://www.rfid-alliance.com
アイニックス (株)	『DXを実現する自動認識技術をご提案』 次世代モデルの電子棚札・ESL: Newton。クラウド型倉庫管理システム: LFS。拡張現実・AR機能を搭載したバーコード読取ソフト: Scandit等を展示。 https://www.ainix.co.jp
(株) イメジャー	『様々なアンドロイドPDAを展示』 最大7世代のOSアップグレードに対応したモデルや、防爆対応、冷凍倉庫用、消毒対応、堅牢型など、様々なアンドロイドPDAをご用意。 https://www.imagers.co.jp
NECプラットフォームズ (株)	《動画放映・カタログ展示》 https://www.necplatforms.co.jp
オカバマーケティングシステム (株)	『自動認識のトータルソリューションをご提案』 最新のRFIDプリンタ・RFIDリーダー、RFIDソリューションをご紹介。また、ゼブラ社製の最新スマートデバイスやウェアラブル端末などを展示。 https://www.okabe-ms.co.jp
(株) コーピー	『CONFIDE for Factory』 製造向けAIを開発から運用・品質管理まで現場レベルで可能な先端XAI/QAAI技術ベースのプラットフォームサービス。工場の自動化・省人化をサポート。 https://corpy.co.jp
(株) サイレンスネット /GIGA-TMS Inc.	『UHF帯RFID関連商品タグ・リーダ』 RFID普及とともに応用範囲も広がり、タグ要求仕様も多様化します。特殊環境でもご利用頂ける耐溶剤性、遠距離通信、大容量そしてバッテリーレスLEDタグをご紹介。 https://www.silencenet.com
(株) サトー	『RFIDが支える新しい製造現場をご紹介』 製造業におけるDXおよびスマートファクトリー化の取り組みに、RFIDソリューションを活用して、新しい現場の姿を想起して頂ける展示内容。 https://www.sato.co.jp
産経新聞社	《協力媒体》 https://www.exposankei.jp
GSJ Japan (一財) 流通システム開発センター	《協賛団体》 https://www.gsjp.org
ゼネラル (株)	『UHF帯ネジ型RFIDタグを展示』 RFID機能を搭載した小型ネジでラベルタイプにない耐水性、取り付けが簡単、比較的小型でありながら高感度なタグ。 https://www.general.co.jp
ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン	《ポスター・カタログ展示》 https://zebra-avnet.jp/
(株) デンソーウェーブ	『製造業のDXに貢献する最新ソリューションを紹介』 ヒト・モノの位置を管理し、稼働状況の把握と現場の最適化を実現するソリューションを展示。小さい部品の管理・トレーサビリティに貢献する「rMQRコード®」の活用例もご紹介。 https://www.denso-wave.com
東芝テック (株)	『サプライチェーンに笑顔を』 東芝テックは、自動認識技術を活用したソリューションで生産性の向上とデータの可視化を実現し、サプライチェーンに関わる全ての方々に笑顔にします。 https://www.toshibatec.co.jp
凸版印刷 (株)	『DX・AIによる未来につながる社会の実現』 用途別ICタグ・画像認識・電子ペーパー・工具管理・遠隔監視など、製造/物流・インフラ・医療業界など幅広い業界で省人化・無人化を実現するソリューションを紹介。 https://www.toppan.co.jp
日本工業出版 (株)	《協力媒体》 https://www.nikko-pb.co.jp
(株) 日立ハイテクネクサス	『RFIDソリューションによるサプライチェーン支援』 NFCタグによる真贋判定サービス「MiWAKERU」や無電池LEDタグを活用したRFID探索アプリケーションの展示を中心としたサプライチェーンソリューションをご紹介。 https://www.hitachi-hightech.com/jp/ja/products/ict-solution/rfid/authenticity.html
(株) フェニックス	『電子帳簿保存法改正! 帳簿の電子化はお済みですか?』 検取印プリンタ搭載! シートリーダAX210バーコード読み取りと同時に検取印も印字、画像データ取得と簡易検索可能! 業務効率化をご提案。 https://www.phoenix-group.co.jp
(株) マーストークンソリューション	『現場業務のDXを推進し、最適な環境をカタチに!』 【UHF帯RFID】ハンディ/自律動作型リーダライタ/ICタグ各種 【1D/2Dコード/画像認識】ハンディ/固定式スキャナ各種/防爆対応品他各種自動認識ソリューション https://www.mars-tohken.co.jp
(株) リコー	『ラベルで実現する社会課題の解決』 リコーのフェノール感熱紙・ライナーレール・透明サーマルをご提案。 https://industry.ricoh.com/thermal
(株) Rist	『カウント特化AIソフト: DeepCounter』 DeepCounterは、従来のルールベースの画像認識技術では実現が難しかった不定形物や、様々な向きに置かれた物体でも高精度に数える事が可能なAIソフトウェアです。 http://www.rist.co.jp
(有) 流通情報ラベル社	《協力媒体》 https://ryutsu-label.jp

近畿地域の製造業の活性化に向けて

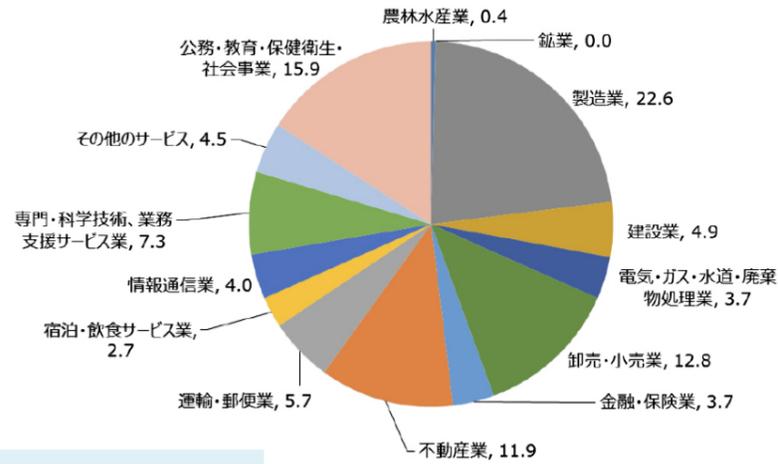
自動認識総合展大阪と併設したセミナー初日の基調講演では、近畿経済産業局 辻課長が、近畿地域（二府五県＝大阪府・京都府・福井県・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県）の経済的特徴や産業の動向などを国内や世界の地域と比較して解説したほか、経済産業省が取り組む各種支援プログラム・補助金の紹介に加え、2025年開催予定の日本国際博覧会（大阪・関西万博）の進捗など、広範囲な情報を講演いただきました。（本講演資料一部掲載）



経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長 辻 敦士 様

域内総生産でみた産業構造

● 総生産の約3/4を第3次産業が占めている。



出所：平成30年度県民経済計算（内閣府）

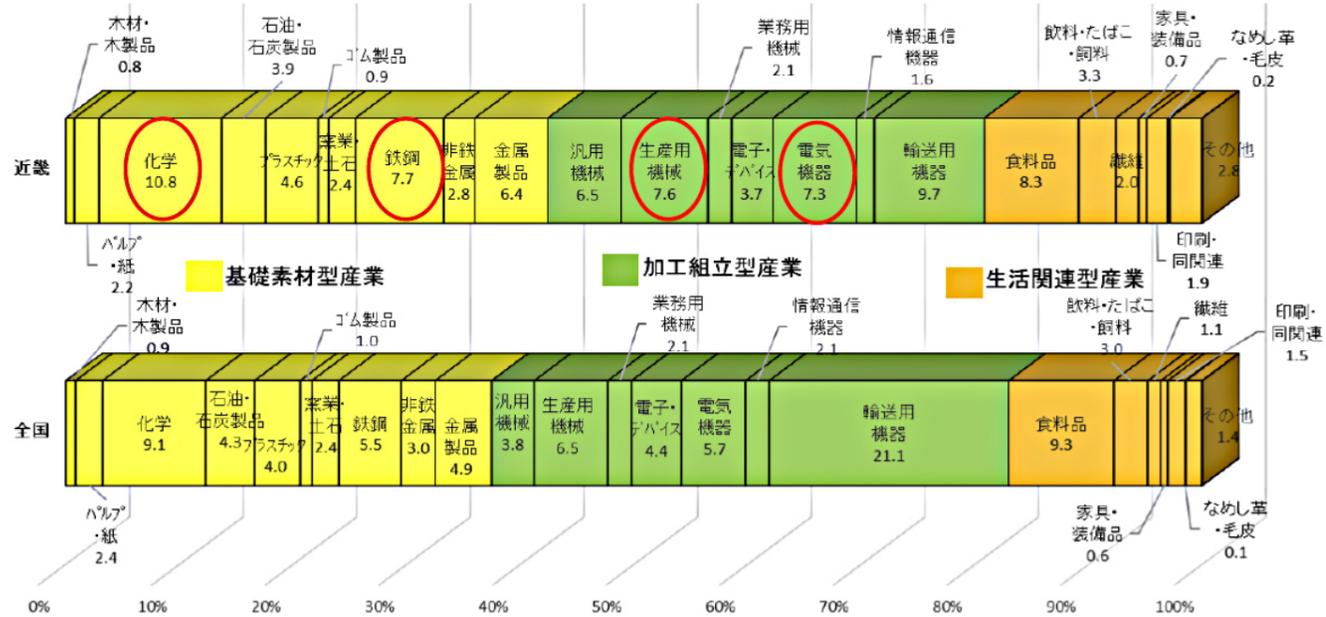
<基調講演 コンテンツ>

- 第1部 関西経済の特徴
- 第2部 ものづくり技術の現状と課題 (2022年度版 ものづくり白書)
- 第3部 経済産業省・近畿経済局の取組
- 第4部 大阪・関西万博

製造品の特徴

● 全国と比較して、化学、鉄鋼、生産用機器などのウエイトが高く、輸送用機械などのウエイトが低い。

近畿と全国の製造品出荷額構成比（2019年）



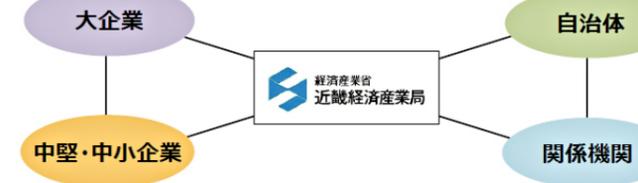
出所：経済産業省「2020年工業統計調査」

② 近畿経済産業局のカーボンニュートラル促進に向けた取組方針

資源エネルギー環境部 新エネルギー推進室 06-6966-6055

- 2050年のカーボンニュートラル（CN）社会の実現に向け、企業の持続可能な成長につながるCNへの取組を進める。
- 近畿経済産業局では、局内における支援体制の強化を図るほか、自治体、関係機関、企業等の連携を深め、管内事業者等のCNへの対応を促進する。

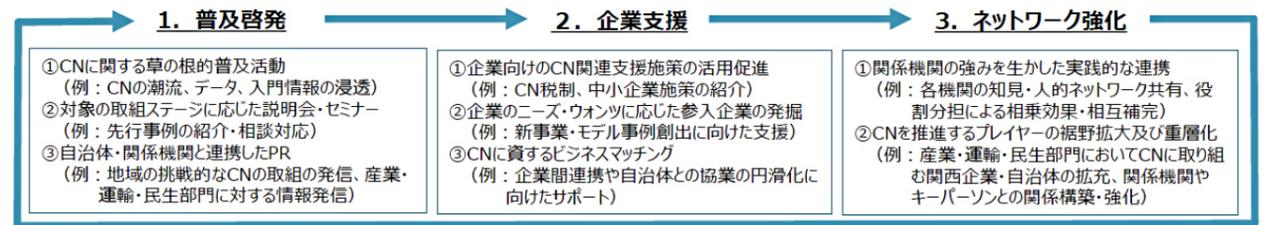
【CN取組ステージ別ターゲット】



【主な連携先(例)】

- ▶ CNに関心の高い自治体、特徴的な取組を実施している自治体
- ▶ CNに資する取組を検討している自治体 ※令和3年度実施した近畿管内222自治体向けアンケート結果等を参照。
- ▶ 商工会議所、産業支援機関、金融機関、業界団体
- ▶ 近畿地方環境事務所など国地方支部局による「きんき脱炭素チーム」

【各主体と連携し、一つ一つの活動を次につなげ、CNの取組の輪を更に広げていく】



②-1 ものづくり・商業サービス生産性向上促進補助金

生産性向上を目指す皆様へ 令和4年12月時点版

「ものづくり・商業・サービス補助金」で新製品・サービスの開発や生産プロセス改善等を支援！

事業環境変化に合わせた支援を用意！

補助上限額 750万円～5,000万円、補助率 1/2～2/3

特に、賃上げやグリーン、海外市場開拓の支援を拡充！

生産性向上を目指すなら、誰もが使える！

以下の要件を満たす事業計画（3～5年）を策定・実施する中小企業等なら、どなたでも応募可能。

- 付加価値額 +3%以上/年
- 給与支給総額 +1.5%以上/年
- 事業場内最低賃金 地域別最低賃金 + 30円

※業種によって定義が異なりますが、製造業の場合は、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業を指します。また、革新性や事業性の審査がございます。公募締切毎に異なりますが、2段階程度の採択率です。

「使いやすさ」が向上！

- 切れ目ない公募により最適なタイミングでの申請・十分な準備・事業期間の確保が可能に！
- あらゆる補助金の手続きを一つのポータルサイトに集約！（J-Grants）

※詳細は裏面をご確認ください。

令和4年度第2次補正予算で中小機構に措置

様々なメニューで、生産性向上を目指す取組を支援！

種別	補助上限	補助率
通常枠	750万円～1,250万円	1/2、2/3（小規模・特定事業等）
通常枠	750万円～1,250万円	1/2、2/3（小規模・特定事業等）
デジタル枠	750万円～1,250万円	2/3
グリーン枠	750万円～1,250万円	2/3
グローバル市場開拓枠	3,000万円	1/2、2/3（小規模・特定事業等）

大規模賃上げに取り組む事業者への支援
補助事業終了後、3～5年で大規模賃上げに取り組む事業者に対し、上記枠の補助上限を100万円～1,000万円、更に上乗せ。（回復型賃上げ・雇用拡大枠は除く）

活用例

- 通常枠：複数形状の餃子を製造可能な餃子全自動製造機を開発
- デジタル枠：個人の作業を省力化するため、顧客・受注・作業員を一体的に管理するシステムを導入
- グリーン枠：炭素生産性向上が図れる製造装置を導入しつつ、従来から製造していた部品の商品質化「エコマテリアル」素材を導入し、環境負荷が少ないグリーンな製品の試作開発
- グローバル市場開拓枠：海外市場獲得を目的とした新製品開発のため、製造機械の導入や展示会への出展

<今後のスケジュール>

- 令和4年度第2次補正予算
- 2023年1月中旬頃 第14次公募開始
- 3月中旬頃 応募受付開始
- 4月中旬頃 公募締切

重要！ 本補助金の申請にはG-NetID（アカウント）の取得が必要です。ID取得に一定の期間を要しますので、お早めにお申し込みください。

ものづくり補助金総合サイト

大阪・関西万博の推進状況

名称
2025年日本国際博覧会
(略称「大阪・関西万博」)
会場
夢洲 (ゆめしま) 大阪市臨海部
開催期間
2025年4月13日 (日)
~10月13日 (月)
メインテーマ
「いのち輝く
未来社会のデザイン」



外国・国際機関パビリオン
公式参加表明
142カ国
8国際機関

TEAM EXPO 2025プログラム
・共創チャレンジ
・共創パートナー
万博連携共創活動
共創チャレンジ登録
800チーム超

国内企業パビリオン
(契約締結)
12
企業・団体

政府アクションプラン
各省庁検討状況
Ver.3
12月発表

(テーマ館) シグネチャーパビリオン
8名の
テーマ事業
プロデューサー
協賛企業**34**社

▶その他の最近の主なできごと
(2022年)
7月 コブクロ『この地球(ほし)の続きを』
オフィシャルテーマソング決定
7月 公式キャラクター愛称が「ミyakミyak」に
決定 応募33,197作品の中から
8月 場内の「休憩所」「トイレ」等20施設の
設計を担う若手建築家が決定
9月 万博特別仕様ナンバープレート
事前申込み受付開始
10月 International Planning Meeting
(大阪・関西万博国際企画会議) 開催

日本館 大阪府・市 関西広域連合パビリオン
(日本館)
基本計画策定
(大阪パビリオン)
中小企業・スタートアップ
事業企画認定
(広域連合)
各府県毎に検討

日本館の概要

●目指す来場者体験

テーマ：いのちと、いのちの、あいだに - Between Lives -

- 来場者自らが、他のいのちとのつながりや循環の中で生かされている存在であり、地球といういのちの束の一部であることに気づく機会を提供。
- 地球で起こっている持続可能性の問題を「自分たちのこと」として認識し、「炭素中立型の経済社会」や「循環型社会」といった未来社会の実現に向けたアクションを促す。

●展示のコンセプト

(1) 循環 (いのちのつながり) の体験

○日本館において一つの循環を創出し、象徴的な来場者体験を提供。

・二酸化炭素や廃棄物を循環に戻していく技術・仕組みを実装。その結果、生み出されたものを来場者が食する等の体験を提供。

例：万博会場から出される生ゴミを利用したバイオガス発電、CO2リサイクル技術の活用、バイオガス発電による電力を利用した藻類の栽培、藻類等を加工し、来場者が食する等の機会を提供

(期待される効果)

- ✓ 二酸化炭素や廃棄物にも新たな活用方法・役割があるという認識の変化。
- ✓ 発展的に循環のサイクルをつないでいくことで持続可能で豊かな未来社会を構築していく可能性への気づき。

<2025年大阪・関西万博 政府出展事業検討会議 委員>

池坊 専好、古賀 信行、コチュ・オヤ、佐藤 オオキ、塩瀬 隆之、千 宗室、鳥井 信吾 (座長)、米良 はるか

(2) 循環とともにある社会の実現に向けた要素の展示体験

○日本文化や技術、日本的な発想を手がかりに、以下の**3つの要素に着目した展示体験**を提供。

- ①循環を見据えたものづくり**
例：長く使い次に再生しやすくするための考え方・技術の提示 (着物を最後まで使い切る工夫 等)。
- ②はかなく小さな生き物**
例：石油代替等の分野で期待される微生物の活用の提示 (発酵文化、微生物の活動の可視化 等)。
- ③次のいのちへのリレー**
例：日本文化の発展・継承 (式年遷宮、伝統芸能 等) を振り返りつつ、私たちがいかに知恵や社会を発展させ次世代に伝えていくかの問いかけ。
(期待される効果)
✓ 持続可能で豊かな未来に向けた気づきを得た来場者が、それぞれに具体的な行動を起こしていく。

サプライチェーンのスマート化に向けた
経済産業省の取組

展示会2日目の特別講演として、経済産業省消費・流通政策課 金課長補佐による特別講演が行われました。講演の内容は、国内小売業の現状、消費財サプライチェーンの非効率化の例と、サプライチェーンの効率化に向けた取組を紹介、フィジカルインターネット (次世代の物流システム) やRFIDによる効率化などご紹介いただきました。

続いて、令和3年度の経済産業省事業紹介として、IoT技術を活用した食品ロス削減の事例創出事業、RFIDに関するオペレーションデータの標準化事業、令和4年度のIoTを活用したサプライチェーン効率化への取組を、実証実験やワーキンググループの活動などの事例を中心に講演いただきました。(本講演資料一部掲載)

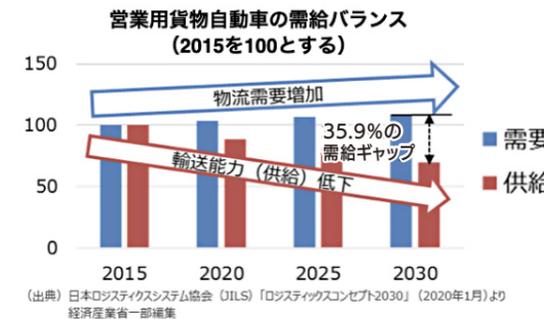


経済産業省
商務・サービスグループ 流通政策課
課長補佐 金 正和 様



消費財サプライチェーンの非効率性の例 (物流)

- 物流需要は増加する一方、輸送能力 (供給) は低下。
- 需給のバランスが崩れ、モノが運べない世界が到来する恐れ。

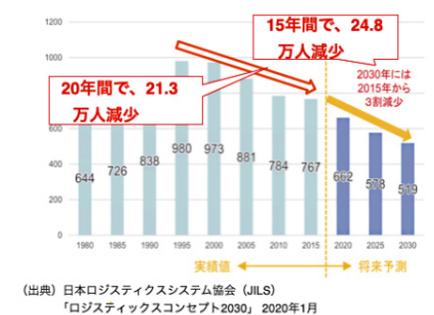


需給ギャップが発生 約3割強のモノが運べなくなる恐れ

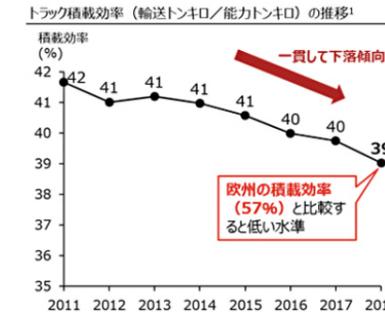
物流需要 荷主事業者の求めに応じ、貨物の小口化・輸送の多頻度化が進み、物流件数 (運ぶ回数) は上昇。

輸送能力 (供給) ①ドライバー数減少 (高齢化+若手参入不足) ←劣悪な労働環境、低収益構造
②ドライバーの働き方改革 (残業上限規制)
③低い輸送効率 (積載効率、回転率)

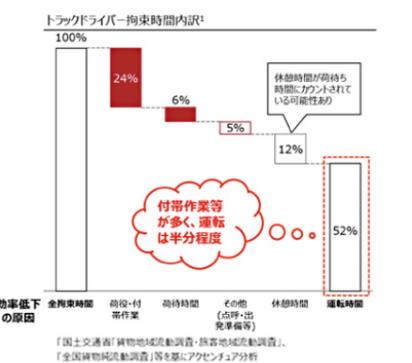
<道路貨物運送業の運転従事者数は減少傾向>



<低い積載効率>

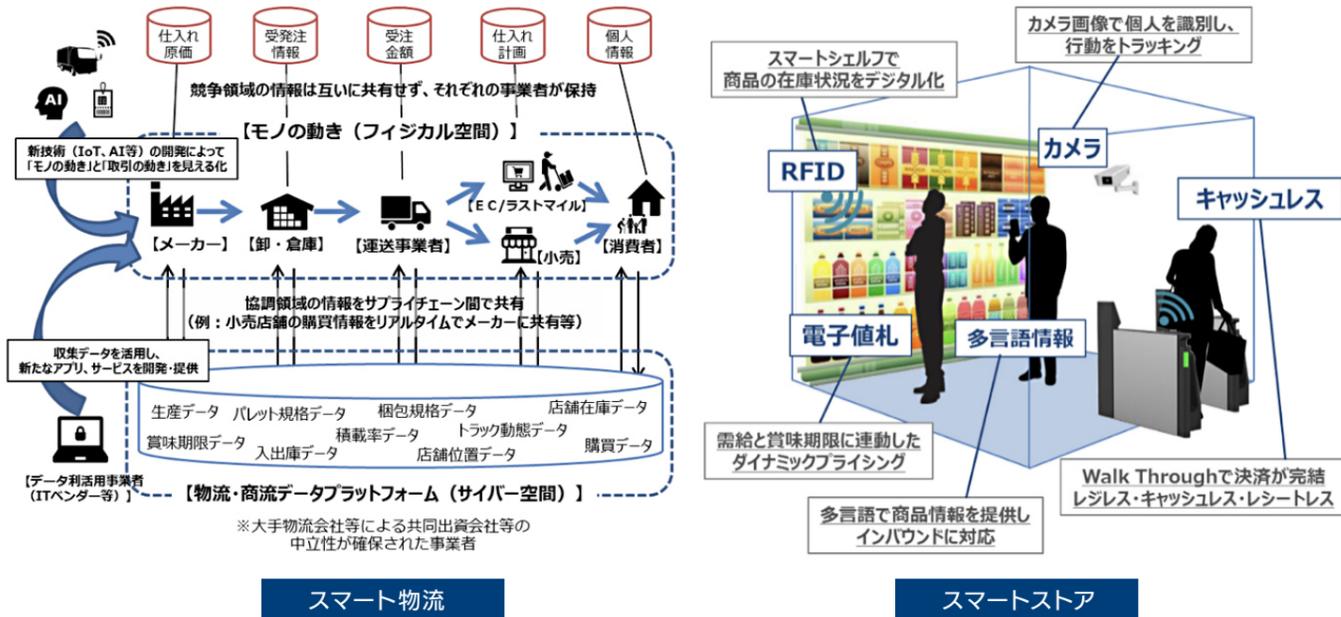


<低い回転率 (=時間当たりの実車率)>



サプライチェーンのスマート化のイメージ

- サプライチェーンのスマート化を実現するため、ヒト・モノ・カネ・情報の流れをカメラ、GPS、電子タグ、キャッシュレス決済などを通じて把握し、それらのデータの共有を目指す。
- 事業者間のデータ連携を通じて、BtoBの効率化や、BtoCの新サービス創造を実現する。



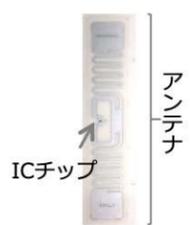
スマート物流

スマートストア

電子タグ (RFID) 活用による効率化・付加価値創出

- RFID (Radio Frequency Identification) とは、電波を用いた自動認識技術。
- 商品1単位ごとに電子タグを貼付することで商品1つ1つを識別でき、複数の電子タグを一括読取できるため、業務を自動化・効率化することが可能。

<電子タグ>



<RFIDの利用イメージ>

RFIDリーダーから電波を発信し、電子タグから返ってくる電波を読み取って商品を識別する



同じ商品でも
個品で識別が可能

【活用事例】

メーカー

- 製品の正確なトレーサビリティの把握
- 偽造品対策
- 生活者ニーズの把握

物流・卸売

- 配送経路・積載量の可視化による共同配送
- 災害時救援物資の迅速な配送
- 在庫管理効率化
- 検品効率化

小売 (リアル店舗)

- レジ業務の省力化
- 在庫管理効率化
- 検品効率化
- 盗難防止
- 食品ロス削減

生活者

- 家庭内在庫の把握
- 頻度の確認
- 食品の消費・賞味期限管理

RFタグ読取評価基準の検討

特別講演は「サプライチェーンのスマート化に向けた経済産業省の取組」に続いて、JAISAのRFID技術グループ 副グループ長の三上氏が、2021年度のRFタグ読み取り評価基準の検討で行った実証実験の内容をご紹介します。

本実証実験は、ドラッグストアの5点の商品を評価の対象とした読取実験で、タグの読取について現在のTIPP (Tagged-Item Performance Protocol) がアパレル製品を対象にしたものであることから、ドラッグストアの商品に対して、TIPPのグレードや評価基準、評価条件をどのように設定できるかを検討し、具体的な評価基準案をまとめるために行った活動です。(本講演資料一部掲載)

*Webサイトからダウンロードできます。

2021年度RFIDタグ読取評価基準の検討報告書 別紙1 TIPP評価測定結果報告書
https://www.jaisa.or.jp/guideline_rfid.php



(株)サイレンスネット
RFIDプロダクトマネージャー
JAISA RFID部会 RFID技術グループ
副グループ長 三上 慎一 氏

◆TIPP評価測定 Grading測定結果の見方
 ・TIPP測定結果例

Single Item	Antenna 1 Sensit.	Antenna 1 Backs.	Antenna 2 Sensit.	Antenna 2 Backs.	Antenna 3 Sensit.	Antenna 3 Backs.	Antenna 4 Sensit.	Antenna 4 Backs.	Grade
MSR	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	S05V Pass
0	100%	-16.8 // -15	100%	-16.5 // -14	100%	-15.9 // -14	100%	-15.4 // -14	S05B Pass
30	100%	-15.3 // -12	-19.5 // -29	-15.4 // -11	-19.4 // -30	-14.4 // -11	-20.6 // -30	-14.4 // -11	S15B Pass
60	100%	-9.3 // -6	-11.0 // -6	-9.0 // -4.5	-10.4 // -4.5	-10.4 // -4.5	-10.3	-8.8	S20B Pass
120	100%	-11.3 // -6	-8.9 // -6	-10.4 // -11	-14.9 // -11	-13.9 // -11	-13.9 // -11	-8.8	S25A Pass
150	100%	-16.3 // -12	-14.9 // -11	-14.9 // -11	-14.9 // -11	-14.9 // -11	-13.9 // -11	-13.9 // -11	S35A Pass
180	100%	-17.8 // -15	-16.9 // -14	-15.9 // -14	-15.9 // -14	-20.5 // -30	-15.4 // -14	-15.4 // -14	S30F Pass
210	100%	-16.3 // -12	-18.3 // -29	-16.0 // -11	-14.4 // -11	-20.5 // -30	-14.4 // -11	-14.4 // -11	M05B N/A
240	100%	-9.8 // -6	-11.5 // -6	-9.0 // -4.5	-9.0 // -4.5	-10.0	-10.0	-10.0	M15B N/A
300	100%	-12.3 // -6	-9.5 // -6	-10.0 // -4.5	-10.0 // -4.5	-8.4	-8.4	-8.4	M20D N/A
330	100%	-16.3 // -12	-15.0 // -11	-14.5 // -11	-14.5 // -11	-13.8 // -11	-13.8 // -11	-13.8 // -11	M25C N/A
									M30E N/A
									M35E N/A
									J04V N/A
									Single Pass
									Stacke N/A
									J-Grad N/A

TIPP評価測定環境 (測定設備)

- 宮川製作所様のRFIDテストベッドを使用して測定を実施した。

TIPP評価測定設備

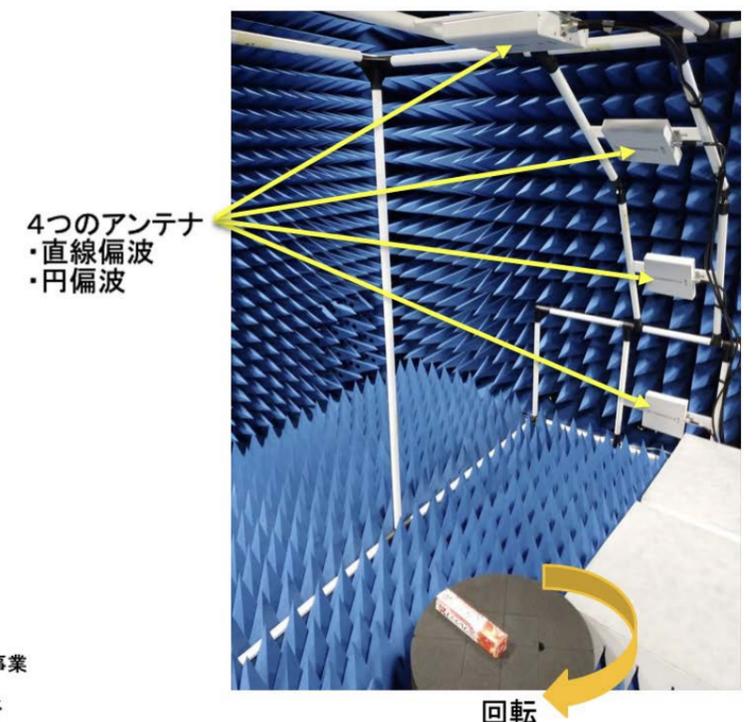


国立研究開発法人
情報通信研究機構 助成
新技術開発施設供用事業

RFIDテストベッド

RFIDの電波伝搬特性に係わる
技術開発・実証のためのIoTテストベッド事業

株式会社宮川製作所



BT Spice 自動認識セミナー 大阪

聴講料	S1・S2・S5・S6	聴講無料
	S3・S4・S7・S8	1セッション (消費税込み) 3,000円

2月21日(火)

S1	無料 チュートリアルセッション	※資料をご希望の方には、当日1,000円にて販売いたします。	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
10:00 11:00	2021年市場調査報告と自動認識技術の最新動向 (一社)日本自動認識システム協会 市場統計委員長 佐藤 誠氏 アイニックス(株) 代表取締役 平本 純也氏 2021年市場調査報告とバーコード、二次元シンボル、RFID、バイオメトリクスなどの自動認識技術の最新動向について講演します。		
S2	無料 基調講演		マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
11:30 12:30	近畿地域の製造業の活性化に向けて 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 辻 敦士氏 近畿経済産業局は、近畿2府5県を担当する地域ブロック機関として、経済産業省の政策を実施しています。講演では、近畿地域の製造業の活性化に向けて、経済産業省の施策や近畿経済産業局が推進している独自プロジェクトを紹介します。		
S3	有料 物流分野での活用事例と物流グローバル調査の解説		マイドームおおさか8階 第1会議室
14:00 14:50	庫内物流効率化の事例紹介 (株)タクテック 営業推進部 部長 尾羽沢 真氏 当社はピッキング〜梱包・ラベリング工程を中心に様々なソリューションで庫内物流の効率化を提案しております。EC/運輸・倉庫/3PL/卸企業で効果のあった事例をご紹介します。		
15:00 15:50	未来の倉庫業務に関するグローバル調査から読み解く、倉庫・配送センターのDX ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン(株) 社長 古川 正知氏 倉庫における現在、及び将来発生する課題に対して、各企業がどのようなテクノロジーを使い倉庫の近代化(モダン化)を図ろうとしているか、ゼブラが3年ぶりに実施したグローバル調査の結果から解説します。倉庫・配送センターのDX化の参考にして頂きたいです。		
S4	有料 製造現場での活用事例		マイドームおおさか8階 第2会議室
14:00 14:50	自動車及びその他製造業での、RFIDタグの活用事例について 小林クリエイト(株) 商品開発部 RFID開発課 課長 杉浦 一広氏 自動車・製造業では2次元シンボル・1次元シンボルが普及しており、RFIDの導入効果が低いとされておりました。そこで、RFIDを実際に活用されている弊社のRFタグソリューション事例を中心にRFIDの導入効果を紹介させていただきます。		
15:00 15:50	現場課題とシステム化の両立 (株)オープンストリーム プロダクト事業本部 副本部長 兼 営業部長 池田 峻二氏 近年DX化の流れもあり、システム化も多様化しております。DX化を進めるにおいて、現在の現場での最優先課題とは何なのか?をステップを分けお話しします。		

2月22日(水)

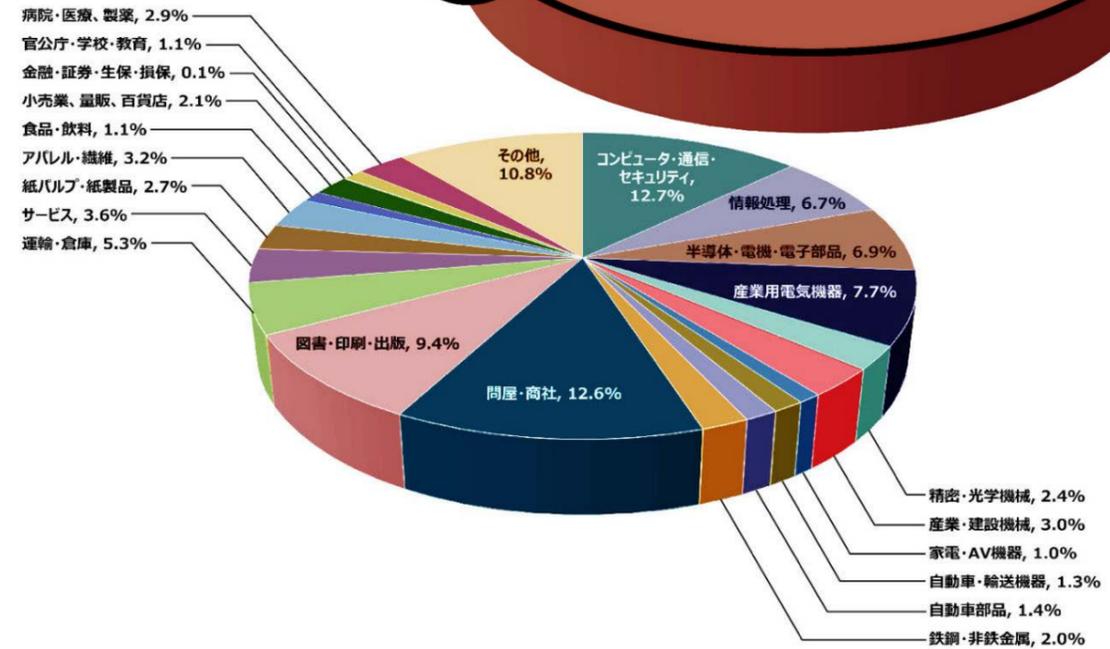
S5	無料 特別講演		マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
10:00 10:50	サプライチェーンのスマート化に向けた経済産業省の取組 経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長補佐 金正和氏 令和3年度に経済産業省委託事業として実施した、サプライチェーン効率化に向けた実証実験や、電子タグを活用した食品ロス削減実証実験の事例をご説明いたします。		
11:00 11:40	2021年度RFタグ読取評価基準の検討(RFID技術グループ) (株)サイレンスネット RFIDプロダクトマネージャー 三上 慎一氏 RFタグ読取評価指標の一つとしてGS1のTIPPがあり、2020年度に同指標を検討しました。そこで課題となった次の3点の検討結果について説明します。 (1)TIPPマルチスタック評価、(2)円偏波アンテナの検討、(3)新グレード・ファミリの検討		
S6	無料 第24回自動認識システム大賞 受賞企業講演		マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
12:00 12:20	一包化錠剤仕分け装置と再利用時のヒューマンエラー防止システム (株)湯山製作所 新技術研究部 次長 杵本 知大氏 一回分の薬をまとめて包装することを一包化といいます。この一包化調剤が患者の容態変更で返品された時に、AIを含む画像処理を用いて薬品種類ごとに仕分けを行う装置が一包化錠剤仕分け装置です。装置の動作から、再利用時の安全性の仕組みを説明いたします。		
12:20 12:40	油・水・薬品の漏れを検知できるRFIDタグを用いた配管リーク等の監視システム トッパン・フォームズ(株) 企画販促統括本部 IT/バージョン本部 IoTソリューション部 センサーデバイスグループ 担当課長 齋藤 真吾氏 RFIDタグと、特殊インクで印刷された印刷センサーを組合わせたデバイスを用い、配管などからの油・水・薬品の漏れを検知するシステムを紹介します。発電所やプラントの配管など、設備の点検業務を容易にすることを旨としたシステムです。		
12:40 13:00	医療機器貸出器械セットの協働型目視検査システムによる労働集約型検査プロセスの効率化 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) サプライチェーンデリバリー・マネージャー 阿部 悠紀氏 画像認識の技術を活用して、病院・代理店・メーカーの3者で重複した作業となっていた医療機器貸出器械セットの構成点数の検品業務を自動化した事例です。		
S7	有料 医療分野での活用事例		マイドームおおさか8階 第1会議室
14:00 14:50	医療機関での導入提案エッセンス〜カルテは自動認識を望んでいる〜 宮城県立こども病院 診療情報室 診療情報管理士 渡邊 勝氏 医療関係者のみならず、メーカーや物流、営業の方々にも好評だった東京会場での講演内容に、病院導入の具体的な事例を追加。診療報酬、電子カルテ、院内物流など知識がないと導入提案は難しい、その必要な知識をわかりやすくエッセンスとして提供します。		
15:00 15:50	自動認識技術による「スマートメディカルソリューション」の実現 小西医療器(株) ソリューション事業本部 情報戦略企画部 部長代理 吉田 記大氏 医療業界におけるRFID技術導入の背景とその有効性を説くとともに、当社が業界に先駆けて取り組んでいる最新の医療物流および、ロボットやRFID技術を駆使した医療材料物流拠点である大阪ソリューションセンターを紹介します。		
S8	有料 物流業界での画像認識技術の活用事例		マイドームおおさか8階 第2会議室
14:00 14:50	物流業界のAI活用とその事例 Automagi(株) AI企画室 室長 和田 龍氏 多くの物流企業にAIソリューションを展開してきたAutomagiの事例をもとに、各社のDXにおける課題を説明します。また、最新の自動計測ソリューションについてお話しします。		
15:00 15:50	3Dビジョンを用いた物流自動化技術の研究状況について 佐川急便(株) 津田 知之氏 Kyoto Robotics(株) 仲道 朋弘氏 フューチャーアーキテクト(株) 金子 大輔氏 物流業界において自動化が進む中、人手による作業の改善が進まないトラックからの荷降ろし。物流の担い手不足を解消するため、SIPの研究において自動荷降ろしロボットを研究しています。要求される技術と開発状況についてご紹介します。		

来場者分析

● 来場者地域分布 [%]

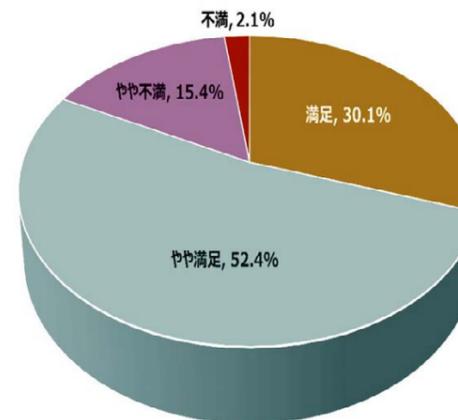


● あなたの会社(部署)が属する業種は?

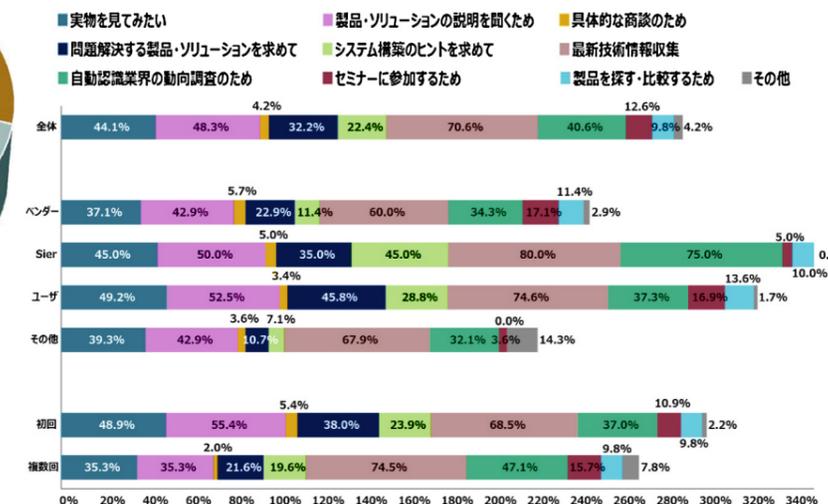


来場者アンケート

● 第20回 自動認識総合展 大阪 の全般的な満足度



● ご来場の目的(複数回答可)



第25回自動認識システム大賞作品募集

2023年度の自動認識システム大賞の作品募集を開始しました。DXを推進、環境保全促進、省力・無人の効率化システムなど、先進的かつ導入効果が認められる事例をご応募ください。当協会会員企業をはじめ、非会員企業、団体、個人でも応募可能な、業界唯一のコンペティションです。

【昨年の受賞作品】

受賞	受賞作品タイトル	応募企業
大賞	一包化錠剤仕分け装置と再利用時のヒューマンエラー防止システム	株式会社湯山製作所
優秀賞	油・水・薬品の漏れを検知できるRFIDタグを用いた配管リーク(液漏れ)等の監視システム	トッパン・フォームズ株式会社 東北電力株式会社
優秀賞	医療機器貸出器械セットの協働型目視検査システムによる労働集約型検査プロセスの効率化	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 Max Kelsen Pty.Ltd.
産経新聞社賞	RFIDによる地すべり防止用インフラ製品の個品管理システム	株式会社サトー NECネクサソリューションズ株式会社



昨年の授賞式

第25回自動認識システム大賞の表彰式は2023年9月13日(水)、自動認識総合展の展示会場で行います。

昨年の受賞作品は https://www.jaisa.or.jp/award_history.php

第25回 自動認識システム大賞

作品募集

自動認識システム大賞は、先進的かつ導入効果が極めて顕著な自動認識技術やシステムを表彰するもので、自動認識システム大賞、優秀賞ほか、各賞に賞状・副賞が授与されます。

大賞	1作品(賞状、賞金30万円)	産経新聞社賞	1作品(賞状、賞金)
優秀賞	2作品(賞状、賞金10万円)	特別賞*	1作品(賞状、賞金)

*新規性、導入効果、社会的価値、実績等の審査項目において、秀でたものがあれば対象となります。



自動認識システム大賞 応募要項

■募集対象

自動認識に関する技術やシステムで、国内で実用されている、または実用の目的が立っているもの。海外で構築されたシステムは国内の導入実績があるもの。日本国内の企業、団体、個人でご応募ください。

■応募方法

以下の項目について指定の申請書に記述して、当協会にお送りください。(容量5MB以下はe-mail、以上はCD-Rで送付)

1. 技術分野：バーコード、RFID、画像認識、生体認証など
2. 申請テーマ：簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述
3. 申請会社名：会社・団体、担当者、所在地、連絡先など
4. 共同申請会社：共同申請会社・団体がある場合、応募1作品につき、最大3社・団体まで
5. ユーザー名：会社・団体、担当者、連絡先など
公表できない場合は業界を明らかにすること
6. システム概要：技術やシステムの概要を300文字以内で記述
7. 申請内容詳細：新規性／技術、市場、企画などの見地で記述
導入効果／経済面、品質面、利便性を記述
社会的価値／公共性、環境、社会貢献度を記述
実績／導入実績、導入予定等を記述
8. 機器、システム構成：写真や動画、図表を使って記述
9. 補足資料：優位性を説明する資料があれば同封

■募集条件

受賞者は、当協会が設定するセミナーなどで、プレゼンテーションを行っていただけます。また、当協会が出版、寄稿する際に、受賞作品の掲載協力をお願いします。

■日程

●募集開始 2023年3月1日(水)

●締め切り 2023年5月31日(水)

審査：予選審査及び最終審査を行います。
予選審査を通過した申請者は、最終審査でプレゼンテーションを行っていただけます。
(但し、交通費は自己負担をお願いします)

結果発表：2023年7月31日(月)
当協会Webサイトほかで公表します。

表彰式：2023年9月13日(水) *第25回自動認識総合展会場にて開催予定

■お問い合わせ

(一社)日本自動認識システム協会 事務局

Phone 03-5825-6651

✉ system-award2023@jaisa.or.jp

www.jaisa.or.jp

自動認識システム大賞は、JAISAによる自動認識の普及・啓発のための事業です。



第25回 自動認識システム大賞

応募書類作成要領

以下の1~9までの項目について記述してください。なお、指定フォーマットはWebサイトに掲載しています。

1. 技術分野

以下の項目で該当するすべてを記述してください。(複数回答可)
バーコード(一次元シンボル)、二次元シンボル、RFID(RFタグ)、ICカード、NFC、磁気カード、OCR、画像認識、バイオメトリクス(指紋・顔貌・静脈・音声・虹彩・掌形の認証)、その他

2. 申請テーマ

内容を的確かつ具体的に表現し、簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述

3. 申請会社名・団体名

記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mail

4. 共同申請会社・団体

共同申請会社・団体がある場合は記入欄に共同申請会社名・団体名を記入
※応募作品1点につき、最大3社・団体までとします。

5. ユーザー名・団体名

記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mail
※公開して良い場合のみ記入、非公開の場合は会社名の欄に業界名を記入してください。

6. 概要

申請した技術やシステムについてその概要を150字程度で記述
※過去に、受賞履歴がある場合は、申請書の6.概要に受賞履歴を記し、前回の申請と異なる点を記述願います。
※国外で構築されたシステムは、国内での導入実績があるものを対象とします。

7. 申請内容の詳細

申請した技術やシステムに関し、以下の項目について強調したい事項を中心に記述
A. 新規性：技術的新規性、市場的新規性、企画的新規性
B. 導入効果：経済的導入効果、品質的導入効果(定量的に)、利便性
C. 社会的価値：公共性、環境性、その他(特筆すべき社会貢献度)
D. 実績：導入実績(定量的に) ※まだ実績がない場合は導入予定。

8. 機器、システム構成

申請した技術やシステムについて写真、図等を使用し記述(別紙可)

9. 補足資料

申請した技術やシステムの優位性を説明する補足資料があれば提出

ご参考 過去の受賞作品はWebサイトをご覧ください。 <https://www.jaisa.jp/award/history.html>

基本技術者資格認定講習・試験は東京・大阪・仙台・名古屋・福岡で開催

自動認識技術者の育成・確保を図るとともに、その技術を広く社会に知らしめていくことを目的として、自動認識技術者資格認定講習・試験を開催しています。現在、基本技術者資格認定者は、全国で2,577名、RFID専門技術者資格認定者は265名、バーコード専門技術者資格認定者は35名(前回開催時まで)が登録されています。

2023年度 自動認識技術者資格認定講習・試験

多くの産業分野や私たちの生活で利用されている「自動認識技術」に関する知識を、提供する人・利用する人に正しく学び習得してもらえるための技術者認定資格です。

自動認識基本技術者資格認定講習・試験	講習：オンライン形式 (再視聴あり)	試験：集合形式(全国複数会場)
RFID専門技術者資格認定資格講習・試験	講習：集合形式(JAISA会議室[オンライン受講可])	試験：集合形式(JAISA会議室)

*自動認識基本技術者資格認定講習・試験は、講習はオンラインで、試験は集合形式で実施します。
*RFID専門技術者資格認定講習・試験は、講習と試験を集合形式でJAISA会議室で実施します。
講習のオンライン受講も可能です。



自動認識技術者資格認定講習 試験 概要

■目的

自動認識技術を活用したシステムの導入・改善などの技術的ニーズに、的確・迅速な対処ができるよう、エンジニアリング業務、システム業務、販売・販売支援業務に従事する自動認識技術者を育成・拡大するために、一般社団法人日本自動認識システム協会が講習・試験を実施し、合格者の認定・登録を行うものです。

■資格等級と対象者

●自動認識基本技術者資格

自動認識技術の基本となる「バーコード・二次元シンボル」、「RFID」、「生体認証」、「標準化」の4科目の基本となる知識を習得します。

対象は、自動認識システムに携わる企業の新入社員・中堅社員、学生、一般社会人などです。

●自動認識専門技術者資格

「バーコード・二次元シンボル」、「RFID」の各科目の専門的な知識を習得します。

対象は、「自動認識基本技術者資格」を取得されており、さらに専門的な知識の習得を目指す方です。

■資格取得者の認定

資格取得者が自動認識技術に関する知識を習得していることを証明するものとして、当協会が登録証、登録証明書を発行します。

また、資格取得者は当協会のWebサイトで氏名を公表しています。

*希望により非公表も有。



登録証見本

■講習・試験日程

●第50回自動認識基本技術者資格認定講習・試験

	オンライン講習		オンライン講習(再視聴)		試験(会場集合)
日程	7月4日(火)	7月5日(水)	7月6日(木)	7月7日(金)	7月8日(土)
受講	標準化	バーコード	標準化	バーコード	東京、大阪、仙台
科目	RFID	バイオメトリクス	RFID	バイオメトリクス	(受験4科目)

●第51回自動認識基本技術者資格認定講習・試験

	オンライン講習		オンライン講習(再視聴)		試験(会場集合)
日程	11月7日(火)	11月8日(水)	11月9日(木)	11月10日(金)	11月11日(土)
受講	標準化	バーコード	標準化	バーコード	東京、名古屋、福岡
科目	RFID	バイオメトリクス	RFID	バイオメトリクス	(受験4科目)

●第18回RFID専門技術者資格認定講習・試験

	講習(会場集合)	試験(会場集合)
日程	2024年2月11日(木)～3日(土) 3日間	2024年2月10日(土)

*会場はJAISA会議室(東京千代田区) オンライン受講可能

■受講・受験料

●自動認識基本技術者資格認定講習・試験

受験回数	一般	会員割引	学生割引料金	受験料(試験のみ)
1回目受験(テキスト有)	40,000円 (税込価格 44,000円)	30,000円 (税込価格 33,000円)		
1回目受験(テキスト無)	32,000円 (税込価格 35,200円)	24,000円 (税込価格 26,400円)	15,000円 (税込価格 16,500円)	10,000円 (税込価格 11,000円)
2回目受験(テキスト有)	15,000円 (税込価格 16,500円)	15,000円 (税込価格 16,500円)	毎回	毎回

●RFID専門技術者資格認定講習・試験

受験回数	一般	会員割引	受験料(試験のみ)
毎回	50,000円(税込価格 55,000円)	40,000円(税込価格 44,000円)	20,000円(税込価格 22,000円)

■お問い合わせ

(一社)日本自動認識システム協会 事務局

Phone 03-5825-6651 | license@jaisa.or.jp

www.jaisa.or.jp



昨年の自動認識基本技術者試験会場(東京)



2023年度 自動認識技術者資格認定講習・試験 申込み手順

お申込み方法は、当協会のWebサイトからの申込みのみとなります。まずは資格試験トップページ <https://www.jaisa.or.jp/license.php> へアクセスして下さい。「募集中の**資格講習・試験お申込み」をクリックすると、各講習・試験の開催概要が表示されます。申込みをされる「講習・試験名」をクリックすると、開催案内が表示されますので、内容をご確認のうえ「資格試験WEB申込画面へ」をクリックして申込みフォームから手続きを行ってください。(募集期間中でない講習・試験は「講習・試験名」をクリックしても開催案内が表示されません。)

1 仮受付

受講・受験者ご本人がWebサイトから申込み(専用フォームへの入力)を行って下さい。お申込み後、受付コードや受講・受験料の払込方法などをお知らせする仮受付メールが届きます。(※この段階ではまだ仮受付の状態です。受講・受験料の入金を当協会が確認できた時点で正式な受付となります。)

2 受験料払込

当協会指定の銀行口座へ受講・受験料をお振込み下さい。ご入金確認後、受講・受験料の発行をご案内するメールが届きます。受講・受験料をWebサイトから発行、印刷し顔写真を貼るなどの準備をお願いします。また、当協会より受講・受験のご案内書類と教材類を発送します。(※受講・受験料は理由の如何にかかわらず返還できません。)

3 案内資料・教材到着

入金確認から数日後に、講習会・試験のご案内資料、使用するテキストなどの教材が到着します。資料、テキストを良く読み、受講・受験の準備を整えておいて下さい。講習会・試験当日は顔写真を貼った受講・受験料を忘れずにお持ち下さい。

ご記入いただきました個人情報は、当協会の資格認定講習・試験の実施に必要な範囲で使用されます。当協会が申込者から収集した個人情報を申込者本人の同意なしに第三者に開示することは、当該講習・試験の目的遂行に必要な業務を請け負うデータ管理事業者以外には、原則としてありません。ただし、以下に該当する場合は、申込者本人の同意に関係なく情報を当該第三者に開示することがあります。

1. 法令に基づき、警察、裁判所等の国や地方の諸機関より個人情報の開示が求められた場合
2. 当協会の権利や財産を保護するために開示が必要な場合
3. その他申込者本人が第三者に不利益を及ぼす等、開示するにつき正当な理由がある場合

2023年度 自動認識の基礎知識セミナー

自動認識の基礎知識セミナーは、どなたでも参加できる自動認識技術の入門講座として、一次元・二次元シンボルやRFID（電子タグ）、バイオメトリクス（生体認証）の基礎知識を図式や事例を交えて分かり易く解説します。



自動認識の基礎知識セミナー概要

講座	バーコード、RFID、バイオメトリクス
対象者	どなたでもご参加頂けます。特に新入社員・新任担当者の方に最適です。
URL	https://www.jaisa.or.jp/seminar.php (Webサイト)
申込	kiso-seminar@jaisa.or.jp (e-mail)

【1】自動認識の基礎知識セミナー(集合形式) *オンライン受講可能

開催日	2023年 ①4月21日(金)、②5月18日(木)、③6月22日(木)、④10月24日(火)、⑤12月7日(木)			
開催時間	10:00～16:45(昼食、休憩含む)			
開催場所	(一社)日本自動認識システム協会 会議室			
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスおよび標準化の基礎的な知識、活用方法・応用事例ほか			
募集人員	40名(先着順)			
受講費用	協会会員	10,000円/人(税込価格 11,000円)	非協会会員	20,000円/人(税込価格 22,000円)

【2】講師派遣による自動認識の基礎知識セミナー *オンライン受講可能

開催日	ご要望により実施		
開催場所	ご指定場所		
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスの各科目を各1講座として、1回の派遣につき2講座以上にて対応します。講座の組合せはご要望に従って実施します。 ※RFIDの実演に関しては免許の関係により別途ご相談		
実施費用 (1講座) ※2講座以上で お申し込みください	受講人数	会員企業	非会員企業
	20名未満	30,000円(税込価格 33,000円)	60,000円(税込価格 66,000円)
	20名以上	40,000円(税込価格 44,000円)	80,000円(税込価格 88,000円)
	50名以上	60,000円(税込価格 66,000円)	120,000円(税込価格 132,000円)
交通費等	講師交通費・宿泊費・日当等は講師人数分を別途ご負担願います。(100km圏内は除く)		
その他	セミナー会場の確保とプロジェクターの準備をお願いします。		

お問い合わせ

(一社)日本自動認識システム協会基礎知識セミナー事務局
Phone 03-5825-6651
Kiso-seminar@jaisa.or.jp www.jaisa.or.jp



出展社募集

AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO 第25回 自動認識総合展

2023.9.13^{WED} - 15^{FRI} 展示 ゾーン モバイル&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
10:00-17:00 東京ビッグサイト 東ホール



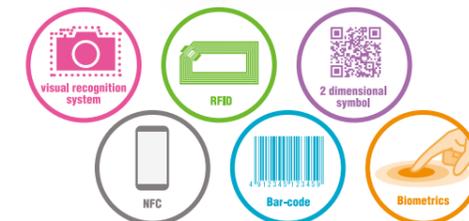
主催：一般社団法人日本自動認識システム協会

併催事業：BT Space 自動認識セミナー

www.autoid-expo.com



公式サイトはこちらから



展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3-4F TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 info@autoid-expo.com



会報 JAISA 第74号 発行所：一般社団法人日本自動認識システム協会 発行人：専務理事 古村浩志
事務局：〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7F TEL: 03-5825-6651 FAX: 03-5825-6653 <https://www.jaisa.or.jp/>